

新採用職員農家実習に行ってきました！

9月下旬から10月上旬にかけて、当JAの新採用職員は組合員さんのお宅に泊まり込みで農家実習を行いました。この実習は、農協職員として農家の生活を肌で感じ、農業に対する理解を深めるという目的で平成24年度から実施しております。春に引き続き、新採用職員4名の農家実習の感想をご紹介します。

京極町 横井英樹さん宅にて
9月27日～10月1日の5日間
実習へ行ってきた鈴木職員

営農経済事業本部
営農推進課

すすき たいせい

鈴木 大晴



今回の農家実習では、馬鈴薯の収穫作業やそばの選別作業を行いました。馬鈴薯の収穫作業ではハーベスターの上で選別を行いました。上がってくる泥を取る作業に苦労し、収穫作業の大変さを体験することができました。

横井さんの家で実習をさせていただいて、農業に真剣に取り組む姿が印象的で、自分も力になれるように頑張っていきたいと感じました。



今回の経験を活かし、農家さんに寄り添えるような農協職員になっていけるように頑張っていきたいです。5日間大変お世話になりました。

真狩村 佐々木大輔さん宅にて
10月3日～10月7日の5日間
実習へ行ってきた松浦職員

真狩支所
地域振興課

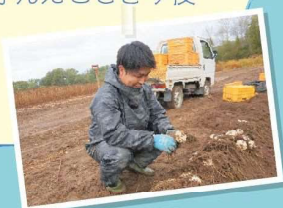
まつうら まさき

松浦 昌輝



今回の農家実習では、大根とゆり根の収穫作業をさせていただきました。実際に農家さんが行う作業を春から秋にかけて植付けから収穫まで体験でき、とても勉強になりました。

営農の基礎から時間管理、自然との向き合い方など普段の私の仕事にも活かせる考え方をたくさん教えていただきました。今回学んだことを今後の業務に活かし、一人前の職員になれるよう頑張ります。本当にありがとうございました。



京極町 多田修さん宅にて10月
6日～10月10日の5日間実習へ
行ってきた加屋職員と木村職員

今回の農家実習では、人参や馬鈴薯の収穫・選別作業を行いました。同じ畑の中でも天候やその他の条件によって畝ごとに育ち方に差ができることを学び、とても勉強になりました。また、作物を育てる上での苦労、常に一定に品質を保ち出荷し続けることの難しさを肌で感じることができました。

今回の農家実習の経験を活かし、より組合員さんの力になれるよう業務を行っていきたいと思います。5日間大変お世話になりました。



京極支所 京極支店

かや

あつし

加屋 淳



京極支所
販売課 施設係

きむら りょうた

木村 亮太



今回の農家実習では、初めてハーベスターに乗り人参や馬鈴薯の収穫・選別等を体験させていただきました。天候の影響で、泥濘があるところは作業が困難という経験もしました。特に馬鈴薯の選別では、たくさん流れてくる馬鈴薯を瞬時に見極めて分ける作業が大変だと感じました。また、多田さんとお話をする中で、農業についての知識や大変さを学ぶことができました。

学んだことを今後に活かし、少しでも組合員さんの力になれるよう、頑張りたいと思います。貴重な5日間、大変お世話になりました。

受け入れて下さった組合員の皆さま、ありがとうございました。